

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年2月27日

事業所名 こども発達・子育て支援センター わくわくかん

チェック項目		はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	1			基準以上のスペースを確保し、利用児が快適に過ごせるよう配慮しており、広い園庭や芝生広場、開放的な遊戯室（ホール）や指導訓練室を確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	12	3			配置基準は管理者、児童発達支援管理責任者、利用児4人に対し、1人の職員配置です。加えて児童指導員等加配職員、専門的支援体制をとっており、保育士、児童指導員（社会福祉士）、公認心理師、OT、看護師、栄養士等を配置し、配置基準よりも多くの職員配置を行っています。今後も丁寧な支援を行いながら支援の質の向上、関わりの工夫を職員間で行なっていきたいと考えています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15				事業所内は全て、段差がない構造になっています。部屋の扉の横にどんな部屋か視覚にわかりやすく絵で表示している。活動やその日の流れが分かりやすいようにタイムスケジュールを張り、見通しが持てるよう配慮している。トランポリンに上がる階段も柔らかい高ウレタン素材の階段にし、遊具の周りにはマットを敷く、角や鉄の棒にはガードをする等安全面にも配慮を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14		1	玩具が雑然？としていることがあり、発達段階にあってないものも多くあるように感じる	利用児が使用した時間後には毎日清掃を行い、整理整頓を行っていますが、騒然となる場合は発達段階や種別に分けるなどおもちゃ倉庫の整理の工夫を考えて、より状況になった環境を整えていくよう改善していく。また、遊具やおもちゃ等毎日アルコールで拭き消毒を行い、室内にも消毒用アルコールを設置しています。子どもたちの活動に合わせて部屋をわけて集団活動を行い、全体での活動は広い部屋で行なうなど工夫しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	4			職員と情報共有しながらPDCAサイクルに参画しており、支援にあたっています。足りない面もあると思うので、今後もPDCAサイクルを意識し、しっかり職員同士参画して取り組んでいきたいと考えてあります
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	1			保護者向けの評価を実施・活用しており、保護者の方からのご意見やご意向を把握でき、業務改善につなげていけるよう努めています。意向等を踏まえ、支援の改善、質の向上に向け、五縦分析を行なながらより一層業務改善努めていきたいと考えてあります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	1			自己評価結果については、館内の掲示板に掲示し、ホームページで公開しています。 職員の意見等の把握については、事業所自己評価や個別面談・育成面談で一人一人と話す機会を設けており、五縦分性シートを用いて支援の振り返りをするなど、業務改善につなげていけるよう努めており、今後もより充実できるよう努めてまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	5		(未回答2) 地域の方に外部評価をしていただか予定（評価いただきました）	地域の民生委員児童委員の方にご評価いただきました。地域の子どもたち・家族のために尽力されているとのご評価をいただきました。また、より地域とのつながり持っていくければとのご意見をいただきましたので、今後の地域支援につなげていきたいと考えてあります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15				法人内の新人研修、キャリアパス研修に参加したり、事業所内で発達支援や五縦分析、育ちのミカタに関してや事例検討会などの内部研修を行っています。外部の研修への参加も積極的に参加できるよう研修の情報を回観や会議等で周知するようにしておらず、積極的に参加できる環境を整えています。
アセスメント	10 支援プログラムが作成、公表されているか	15			作成しています。	公表しました。
	11 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	1			子どものアセスメントは日々の振り返り、話し合いの中から課題や目標を設定し、保護者に関しては日々の送迎時にお話したり、電話相談や面談を行うなど、アセスメントを行って、保護者の困りや悩みの共有、ニーズの把握を行い、どのような支援が必要か、職員間で話し合い、子どもの最善の利益は何かを考えながら、計画を作成していくよう努めています。今後はツールを用いるなどして支援計画を作成をより客観的に行っていけるように考えています。 職員間でも計画を必ず共有して支援を行っており、今後も共にし、チームで支援を行なっています。

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	2			日々の支援の中での様子や利用調査票などインフォーマルなアセスメントを行なながら、レーダーチャートを利用して分析しており、今後は、育ちのミカタや五輪分性シートなどのツールを用いて分析するなどして行きたいと考えています。
	13	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	15				5領域を踏まえ、「本人支援（発達・才能支援）」、「本人支援（対人関係・心のケア）」、「家族支援」「移行支援・地域支援・地域連携」の項目を設け、子ども一人ひとりにあった、必要な支援目標と支援内容を設定しています。本人の日々の様子や発達の特性、具体的な関わりを踏まえた具体的な支援内容になるよう設定しています。今後はツールも用いていくことも検討中です。

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15			クラス会議を週1で設けていただいたいので周知でき実践することができたと感じます	計画に沿った支援を行っています。
	15	活動プログラムの立案をチームで行っている	14	1			活動ディレクターや各クラスのリーダーを中心に活動内容を考え、職員間で検討し、立案していますが、。
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	3		マンネリ化している部分もある	季節の活動や製作、粘土遊び、音楽遊びなどを取り入れたり、調理活動など企画しています。また、職員みんなで話し合って活動内容を決めています。子どもたちの状況や必要に応じて一定期間固定する場合もあります。今後も子どもたちの様子や状況を踏まえながら、活動自体に新しいものを取り入れていくことの視点も大事なので、子どもたちの発達や視点に立って、マンネリ的な部分と新しいものを取り入れる工夫や活動に対する意識を高める配慮を行っていきます。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	15				子どもの特性や発達段階でクラスわけをしています。集団の活動、クラスわけの小集団の活動、さらに通所期間や発達特性、対人意識の状況に応じて個別の活動を設けていますし、それに合わせた計画を作成しています。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	2		必ず…はできていない。月で活動内容等は確認できていた	支援前(朝礼時等)にミーティングを行い、活動内容、個々の対応での留意点や個別対応の必要性のある児童へは担当を決めたり、グループリーダーやサブなどの役割分担を行うなど、職員間で確認をするようにしています。より細かな打ち合わせが日によっては送迎などが入っていたり等でできることもあると思われるでの、朝礼時に確認できるよう工夫したり、朝礼後支援開始までにより細かな打ち合わせができるよう意識して時間を作るなどクラス間で工夫できるように取り組んでいきたい。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	1		必ず…はできていない。月で活動内容等は確認できていた 気付いた点などはクラス会議で話せた	活動終了後ミーティングを行い、支援の振り返りと新たな支援方針の検討を行っています。その日にいなかった職員にも伝わるよう業務日誌に記載し、朝礼時に伝達するなどして情報共有をしっかりと行っていけるよう努めています。週に1回は必ずクラス会議を行えるようにしています。足りない、できていない部分があるときは意識して話し合える時間を作る等、より細かく共有できるよう取り組んでいく。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15				正しく記録をとれているか、その日のディレクターが、その日の利用児と記録があつてあるかの確認をし、支援の検証、改善につなげています。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14	1			半年に1回必ず更新モニタリングを行い計画を見直しを行って、必要に応じて細かい計画の変更を行うようにしています。
	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15				管理者・児童発達支援管理責任者や療育現場でその子どもの関係がでている職員が会議に参加して情報交換を密に行っています。
連携による支援の実現	23	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14			(未回答1)	地域の保健師からの相談や地域療育等支援事業を行っているため、保健師が参加して気になるお子さん家族の情報交換や利用状況などについて密に連携しています。また地域の保育園・幼稚園・こども園に並行利用している利用児がいるので、送迎時の情報交換や保育所等訪問支援、施設支援を通して情報共有、助言等で連携した支援を行っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	1	(未回答9) 現在対象児なし	現在医療的ケア児の利用はありませんが、地域保健や医療や保育教育、障害福祉との連携をとれる体制を整えてきており、同法人ではライフステージに合わせた施設があること、地域の保健師や病院との連携体制も構築できてきて、不足している面は今後も引き続き取り組んでまいります。
	25	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1	1	(未回答9) 現在対象児なし	現在、医療的ケアが必要なお子さんは利用していませんが、重要事項説明書に主治医の記載をしてもらっています。協力医療機関には健診を年2回お願いしています。必要時連絡体制が整うようにしてはいますが、その都度対応しながらより整備していきたい。
	26	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15				保育園こども園幼稚園と併行利用しているので、送迎時に情報交換を行ったり、支援会議を設けたり、保育所等訪問支援を行ながら、事業所や園での支援の内容やかかわり方、利用児の特性に応じた配慮などについて相互理解を図っています。

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	27	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学校部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15				小学校とは就学前に支援会議を行うなどし互いの情報交換や支援での配慮点などの共有を行っています。保育所等訪問支援を通して保育園幼稚園小学校との情報共有を行なながら、就学する小学校への進学がスムーズに行えるよう連携を行っています。特別支援学校とは入学前に支援内容等の情報提供書を作成送付し、情報共有を行っています。また、支援学校の見学会を設定するなどして保護者への就学に対する情報提供、支援学校への事前のニーズ把握等できるよう連携しています。
	28	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	4			発達障がい者支援センターECOALと連携を取り、助言を受けたり、研修や講演会に参加しています。他の児童発達支援センターや事業所を併用利用しているお子さんについては情報共有やかかわり方の共有等行っています。今後も地域の核機能を果たしていくべく連携を強化できる体制を整えていきたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	4	2	今後はもっと増やしてよいと感じる	同一法人内のごども園に出向き、一緒に遊んだり、体験交流ができるよう設定し一緒に活動できる機会を設けていますが、今後はより交流機会を増やしていくよう取り組んでいけるよう、他のこども園等とも連絡し合えるように努めています。
	30	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10	4	1	子ども部会や研修があるので参加している	協議会研修会に参加しています。協議会の会議は、市が決めた事業所等で構成されているため、参加はできません。協議いただきたい事案があれば部会員の方や市障害福祉課に伝えるようにしています。
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15				送迎時や電話連絡により日頃の子どもの様子を保護者の方に伝えています。また、保護者の方のニーズを踏まえて、支援計画を作成しています。
	32	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	14	1			週1回、木曜日の午前に保護者の方同士が話し合いができる日を設けており、そこで保護者同士が悩みを話し合ったり、経験を伝えたり、公認心理師がファシリテーターとしてその話し合いに入ることで対応の仕方や家族支援を行っています。今後も保護者支援の充実に向けて講演会やペアレンツメントの活用なども考えていきたい。
保護者への説明責任等	33	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	2			利用開始時に利用契約書や重要事項説明書の説明を通して丁寧な説明を行っています。
	34	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている	15				面談や相談に応じながらよく話を聞いたり、日々の支援の中で子どもの意思の尊重や子どもの最善の利益を優先した観点で、また保護者意向を確認する機会を設けるよう努めています。今後も話し合う機会をより設けていきたいと考えています。
	35	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14			(未回答1)	5領域を踏まえて、本人支援（発達・才能支援、対人関係・心のケア）、家族支援、移行支援・地域支援等の項目別に支援内容を作成し、日頃の様子や成長したこと、どのような意図で支援しているかということを分かりやすく説明し、保護者から支援計画の同意を得ています。
	36	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15				随時、子育て等の悩みや相談に応じ、必要に応じて支援会議を行ったり、臨床心理士との面談を設ける等行っています。
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	2			行事の際に保護者会を開催するなど保護者同士が連携できるよう支援しています。今後状況をみながら、保護者同士で交流できる場を設けていければと考えています。兄弟時の方も行事に参加してくれており、兄弟児同士のつながりもできつつあるようです。兄弟児への支援に今後つなげなければと考えています。
	38	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15				保護者の方々からの相談は電話でも来所でも対応しており、できる限り迅速に対応しております。いつでも相談してくださいと保護者の方には周知しており、公認心理師や経験のある保育士等が相談に応じれるよう整えています。また、苦情解決担当者、責任者を設け、掲示をしています。また重要事項説明書でも記載し、第三者委員についても記載しています。もし、苦情等があった場合は迅速に対応していくよう努めます。

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15			わくわくだよりやクラスだよりを発行している。保護者との連絡アプリ、コドモンでの発信等行っている。	定期的にわくわくかんだより・クラスだよりを発行しています。行事予定や連絡等に関しては、コドモンやLINE、紙面で発信しております。
	40	個人情報の取扱いに十分注意している	15			個人情報については同意書をもらい文章等は鍵のかかるロッカーで管理している。	細心の注意を払い、保護者の方にも個人情報の使用について担当者会議等情報交換など必要なときのみ情報共有させていただくことを了解していただくため、同意書をいただいている。毎日の朝礼で倫理綱領を全職員で読んでいます。その中に守秘義務の遵守があり、意識の徹底ができるよう心掛けています。個人情報がある文書に関してはカギのかかる棚に収納しています。
	41	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15				視覚的にわかりやすいように、文書にしたり写真を見せたり、サインや言葉のモデルを示したり、タイムスケジュール作成する等、情報伝達の配慮を行っており、自分の意思を伝えやすい工夫を行っています。コドモンやLINE、電話など、ICTを駆使しながら、またわくわくの会や保護者会などを通して、保護者の方々の思いや情報など伝えたり受け止められるよう配慮を行っています。
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	6	3	(末回答1) 萬弘寺のお祭りや初詣、施設内の見学などの受け入れを行っている	地域や地区的研修・見学を受け入れました。お祭りを行っており、わくわく祭りの際に兄弟児や祖父母等地域の方との交流を行い開かれた事業運営に努めています。
	43	事故対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13	2		策定して周知しています	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しており、職員には皆が目をとすことができるよう回覧したり、研修等行うことで周知しており、保護者には保護者会等で周知させていただいているが、今後も周知できるよう、随時伝えるなどして工夫していくといいと考えています。 また、事業所で事故等（怪我等を含む）が発生した際には、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について丁寧に説明し対応するよう努めています。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを作成しています。保護者会や利用開始時の契約の際に周知を図っています。
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	2			避難等の意識付けができるよう活動に取り入れるよう努めています。職員間でも非常に備えて訓練を行い、いざというときに対応できるよう努めています。また、保護者会等や個別にも周知できるよう努力していきます。 BCP（業務継続計画）についても策定し、事業所内で研修訓練を行っております。 子どもの安全を確保するための計画（安全計画）について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援するよう努めています。
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	2			安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理を意識して支援を行っているが、それでもけがが起こることはがあるので、その都度なぜかがしたのか、どうすれば防げるのかなど、職員で検証して、より安全に子どもたちが過ごせるよう努めています。
	46	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	2			保護者会等で周知を行うようにしてはいるが、十分な周知はできないと思うので、より周知できるよう工夫していきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	15				利用前(見学時)に利用調査票に記入いただき、子どもの状況を確認、把握しています。看護師が対応しており、子どもの状況が変化した時や服薬が変更したときは連絡をいただしたり、こちらから連絡したりしております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	15				食物アレルギーのある子どもに対しては医師の指示書に基づいて栄養士が調理し個別食にて提供しています。
	49	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	2			ヒヤリハットの事例が起った際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有できるようにしています。事例集は作成していませんがファーリングしていつでも見れるようにしています。
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15				法人内の虐待防止委員会へ職員が所属し、虐待の防止を徹底しています。職員に研修等行っています。外部の虐待防止に関する研修にも進んで参加しており、全員参加はできないので、伝達研修も行っています。虐待防止につながる支援の人員配置やスーパー・バイズなどにも手厚く配慮しています。
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	15				「身体拘束は行わない」という方針のもと、職員の人員配置も基準以上の配置をし、職員に対しての周知の徹底を行い、専門性の向上に努めています。しかしながら、安全上等やむを得ない状況になった際は、行動の制止があることを保護者の方に説明させていただき、児童発達支援計画に記載し、署名いただけています。

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。